

深志同窓生の随想集

会報に載ったコラムを編纂

松本深志高校のPTA会報「リレー随想」に載ったコラムを主体にした随想集『樹人の磁界』がこのほど、編纂委員会から発行された。いまは亡き同窓生による珠玉の一編も載り、読みごたえがある。

同会報9号(2005年

度末)から33号(2013年度末)までのリレー随想に、4編を加えて28編で構成している。「緑に繋がる」(市原潤)に始まり、「志たかく」(穂刈甲子男)「きけわだつみのこえ60年」(西村忠彦)「最後の旧制松中生たち」(降旗節雄)「灯台下暗

し」(中島博昭)「北を指す」(はまみつを)「叱られて四十年」(小林俊樹)「西穂を記憶する」(鈴岡潤一)「深志の森と百年館」(鎌田久美子)など。

編者の鈴岡潤一さんは時系列に配置してみると「直接繋がっていないなくても繋がっているように感じた。百年の計は人を育てる『樹人』の営みが、磁界の中に存在していると思える」と記している。

四六判、252頁。問い合わせは編纂委員会(☎0263・32・7402)へ。

(赤羽康男)



深志同窓生の随想集『樹人の磁界に』